

仙台市様 - ドローンを活用した津波避難広報システム

ドローン積載避難広報用スピーカーと防災行政無線受信機と連動した 避難広報システム



スピーカーを積載したドローン

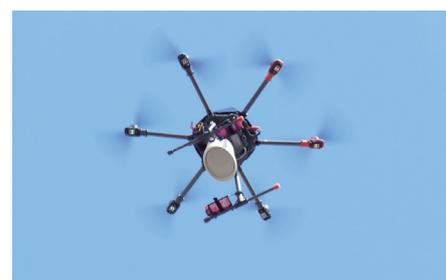
仙台市様は、2018年3月19日(月)にNTTドコモとの「ICTを活用したまちづくりに関する連携協定」に基づき、パナソニック、ブイキュープロボティクス、富士通などと協力し、ドローンを活用した津波避難広報システムの実証実験を、震災遺構 仙台市立荒浜小学校および仙台市若林区深沼海岸で実施されました。



震災遺構 仙台市立荒浜小学校



ドローンは荒浜小学校を飛び立ち海岸方面へ向かう



スピーカーを積載して飛ぶドローン

実証実験について

今回実施した3つのミッションは、1.自動出動（離陸、自動航行）、2.LTE回線による呼びかけ、3.防災行政無線での呼びかけとなっています。

1.自動出動：パナソニック、NTTドコモ、富士通、ブイキュープロボティクス

Jアラート受信機が大津波警報を受信したと想定し、Jアラートから発信されるメールを経由し津波情報を受信したドローンが自動で出動（離陸）。あらかじめ指定されたルートで自動航行し海岸まで飛び、避難広報用スピーカーを使用して自動音声で避難を呼びかける。その際、ドローンの搭載カメラがとらえた映像を複数拠点に中継し、撮影位置をリアルタイムで地図上に示す。

2.ドコモLTE回線での遠隔呼びかけ：パナソニック、NTTドコモ、ブイキュープロボティクス

自動出動したドローンが海岸で逃げ遅れた人影を発見したことを想定し、離れた現地本部から海岸のドローンに搭載した、パナソニックの避難広報用スピーカーを通じて呼びかけ避難を促す。



実証実験には複数の企業が参画

3. 防災行政無線での避難広報：パナソニック、ブイキューブロボティクス

ドローンが防災行政無線の受信機を搭載し、防災行政無線でも避難の呼びかけができるように上空で無線を直接受信し避難を呼びかける。



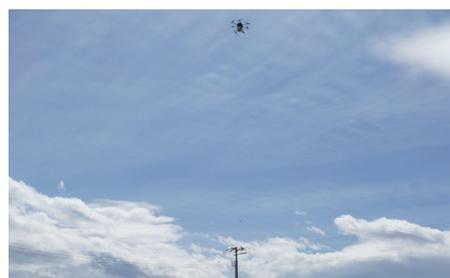
Jアラート受信機からのメールをトリガーとしてドローンが自動で出動



深沼海岸を飛び避難を呼びかけるドローン



防災行政無線設備（実験局）の移動用親局設備



海岸から戻ってくるドローン



無事着地



パナソニックの防災行政無線の受信機を搭載したドローン



防災行政無線の受信機とスピーカー



防災行政無線受信機とスピーカーを搭載して飛び立つドローン



実験を終えて着陸

お問い合わせは 〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目21番1号 汐留浜離宮ビル

パナソニック システムお客様ご相談センター
パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

パナハ ヨイフ
0120-878-410 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。（お問い合わせの内容によっては担当窓口をご案内する場合がございます）

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

- 製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。
- 製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
- 本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。
- 実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。

SSJ-JJ4D801-9

発行：2018.8